

プロジェクト名：北海道増毛町地先における鉄鋼スラグ施肥材による海藻藻場造成（日本製鉄株式会社、増毛漁業協同組合）

◆プロジェクト概要

・約20年前に造成された沖合の囲い礁の効果の不鮮明になっていた北海道増毛町別荘オタルマナイ地先において、日本製鉄と増毛漁組は共同で2014年10月より日本製鉄社製の鉄鋼スラグ施肥材（ビバリー®ユニット）45tを海岸線270mに埋設し、藻場造成に取り組みました。

・取組み当初0.6haであった海藻藻場（主にホソメコンブ）は、7年後の2022年には3.3haまで拡大し、直近過去5年間（2018-2022年）のCO₂吸収量は49.5t-CO₂と試算されました。

◆2023年度の活動内容

- ・環境授業 5回、講演 6回、表彰 1件
 - ・5～6月に藻場の潜水調査、ドローン撮影による藻場状況の把握。
 - ・2022年の6か所から2023年は21か所へ全国展開。本活動の認知向上により、藻場造成を拡大。
 - ・2023年度も継続して認証取得。
- 今後もさらに藻場を増やしていきます。

炭酸化製鋼スラグ
（鉄源）



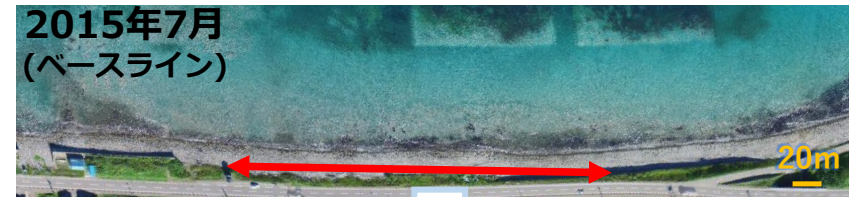
腐植物質
（腐植酸）



図：鉄鋼スラグ施肥材



図：施工の様子（2014年10月）



海藻藻場（黒い影）が海岸・沖合方向に広がっている様子が分かります。



図：藻場の拡大の様子（ドローン画像）